

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第1部門第2区分

【発行日】令和2年4月9日(2020.4.9)

【公開番号】特開2020-28612(P2020-28612A)

【公開日】令和2年2月27日(2020.2.27)

【年通号数】公開・登録公報2020-008

【出願番号】特願2018-157255(P2018-157255)

【国際特許分類】

A 6 3 F 7/02 (2006.01)

【F I】

A 6 3 F 7/02 3 2 0

【手続補正書】

【提出日】令和2年2月10日(2020.2.10)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

遊技者にとって有利な有利状態に制御可能な遊技機であって、

遊技の進行を制御する手段であって、設定された設定値にもとづいて前記有利状態に関する制御を実行可能な遊技制御手段と、

前記遊技制御手段が遊技の進行を制御するための遊技情報を少なくとも記憶可能な遊技情報記憶手段と、

電源投入時の遊技機の状態を検出可能な検出手段と、

前記検出手段により検出された電源投入時の遊技機の状態を特定可能な状態情報を記憶可能な状態情報記憶手段と、

演出動作を行うことが可能な可動体と、

を備え、

前記遊技制御手段は、

前記検出手段により検出される電源投入時の遊技機の状態が特殊状態であることを含む第1条件が成立しているときに、前記遊技情報の消去を伴う前記遊技情報記憶手段の初期化を行うための初期化処理を実行可能であり、

前記検出手段により検出される電源投入時の遊技機の状態が特殊状態であることを含む第2条件が成立しているときに、前記設定値を変更するための設定変更処理を実行可能であるとともに、前記第1条件が成立した場合に実行する前記初期化処理と共に初期化処理を、前記状態情報記憶手段に記憶されている状態情報をもとづいて実行可能であり、

前記第1条件と前記第2条件のいずれが成立した場合であっても、前記状態情報を消去し、

前記可動体は、電源投入時において、前記可動体の演出動作を確認するための確認動作を行うことが可能である、

ことを特徴とする遊技機。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 0 6

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0006】

手段1に記載の遊技機は、

遊技者にとって有利な有利状態（例えば、大当たり遊技状態）に制御可能な遊技機（例えば、パチンコ遊技機1）であって、

遊技の進行を制御する手段であって、設定された設定値にもとづいて前記有利状態に関する制御を実行可能な遊技制御手段（例えば、遊技制御用マイクロコンピュータ100）と、

前記遊技制御手段が遊技の進行を制御するための遊技情報を少なくとも記憶可能な遊技情報記憶手段（例えば、RAM102）と、

電源投入時の遊技機の状態を検出可能な検出手段（例えば、クリアスイッチ）と、

前記検出手段により検出された電源投入時の遊技機の状態を特定可能な状態情報（例えば、バックアップデータ）を記憶可能な状態情報記憶手段（例えば、RAM102のアドレスF002の領域）と、

演出動作を行うことが可能な可動体と、

を備え、

前記遊技制御手段は、

前記検出手段により検出される電源投入時の遊技機の状態が特殊状態（例えば、クリアスイッチがON状態）であることを含む第1条件（例えば、クリアスイッチがON状態であって錠スイッチ207SG051が操作されていない状態であること）が成立しているときに、前記遊技情報の消去を伴う前記遊技情報記憶手段の初期化を行うための初期化処理（例えば、RAMクリア処理）を実行可能であり、

前記検出手段により検出される電源投入時の遊技機の状態が特殊状態（例えば、クリアスイッチがON状態）であることを含む第2条件（例えば、クリアスイッチがON状態であって錠スイッチ207SG051が操作されており、且つ、開放センサ207SG090がON状態であること）が成立しているときに、前記設定値を変更するための設定変更処理（例えば、設定変更処理）を実行可能であるとともに、前記第1条件が成立した場合に実行する前記初期化処理と共通の初期化処理（例えば、RAMクリア処理）を、前記状態情報記憶手段に記憶されている状態情報にもとづいて実行可能であり（例えば、RAMクリアフラグがセットされているかを判定し、セットされている場合にRAMクリア処理を実行する部分）、

前記第1条件と前記第2条件のいずれが成立した場合であっても、前記状態情報を消去し、

前記可動体は、電源投入時において、前記可動体の演出動作を確認するための確認動作を行うことが可能である、

ことを特徴としている。

この特徴によれば、第1条件の成立時と第2条件の成立時とで初期化処理の共通化することができる所以、初期化処理の処理プログラムの記憶容量が増大してしまうことを防ぎつつ、状態情報にもとづいた初期化処理を的確に実行できる。